

中央地区市町村手をつなぐ育成会・施設保護者会会員等研修会

1. 主 催 秋田県手をつなぐ育成会県中央区協議会

2. 日 時：平成26年11月22日（土） 13：30～15：30

3. 場 所：秋田県社会福祉会館10階大会議室

4. 研修内容

（1）知的障がいをもつ子どもの親として

秋田市手をつなぐ育成会副会長 小林 顕 氏 （医師）

（2）知的障がい者サポーターの養成を目指して

～愛川町社会福祉協議会の取り組み～

神奈川県愛川町社会福祉協議会 山口晴香 氏

# 中央地区協議会研修会 26.11.22

90名を越える参加者





## 知的障がいを持つ子どもの親として 秋田市手をつなぐ育成会副会長 小林 顕 氏

知的障がいをもつ子どもの親として、小林さんが書いた家族の絵で子育て経験を講話されました。その中で、ある晴れた日曜日に障がいのある三男を犬の散歩で千秋公園につれて出かけた時に、行方不明になってしまい、警察に届け、大騒ぎになりました。結果的に千秋公園から6kmも離れた土崎の街中を泣きながら歩いているところを3人女子中学生に声をかけられ、近くの交番に連れて行ってもらい、無事保護された事例を紹介し、知的障がいのある人が地域の中で、暮らしていくためには、一般市民の理解と支援が必要であることを実感し、市民ボランティアの養成を思いつき、全国で知的障がいのある人の市民ボランティアの養成を実施しているところを探した結果、神奈川県愛川町で行っていることを知り、小林さん自ら受講され、秋田市でも出来ないものかと思い、今回の研修となった。詳細は、秋田医報に投稿した記事をご参照ください。





## 知的障がい者のサポーターの養成を目指して 神奈川県愛川町社会福祉協議会 山口晴香 氏

- 愛川町社協で地域福祉活動計画を策定するにあたって、住民の地域福祉への参加を促進
- 計画を作成した際に住民の参加で地域福祉への課題のワークショップを行った。このメンバーが主体となって「愛川の底力住民委員会が発足した。
- メンバーから、知的障がい者が、その行動で時に不審者と勘違いされ、警察に通報されてしまうことがある。地域の方々に知的障がい者特有の行動を理解していただきたい。という提案から始まった。
- 「お店や地域の人たちに障がいを知ってもらうには」という内容で大学教授から講演をしてもらう。
- 警察、コンビニ、ぽっぽやなど日常関わりの強いところからアタックし、90名を越えるサポーターが養成できた。詳細は、スライド資料を参照してください。